

エゾシオガマ

Pedicularis yezoensis Maxim.
ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は1山域のみで、個体数も少ない。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）の高山帯に生育している。県内では奥越地方で確認されている。

種の特徴

高山帯に生育する多年生草本。茎は無毛で、根元から数本が枝分かれして直立する。葉は互生し3角状披針形。8～9月、上部の葉腋に1個ずつ、黄白色の唇形花をつける。

生育を脅かす要因

産地の局限と温暖化、自然遷移の進行が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
																	○	

ヒキヨモギ

Siphonostegia chinensis Benth. ex Hook. et Arn.
ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育域は開発の影響を受けやすく、近年生育条件が悪化傾向にあり、生育地、個体数とも減少している。

分 布

北海道～九州に分布する。県内一円で確認例がある。

種の特徴

低山の日当たりのよい草地に生育する一年生草本。茎は直立し、枝分かれし、深くさげた葉を対生する。8月頃に葉腋に鮮やかな黄色い花を付ける。花は唇型で下側が大きく、萼は筒状で5つに裂け、雄しべ4本のうち2本が長い。

生育を脅かす要因

人間の生活域に近い所に分布するため生育地は土地造成の開発の対象となりやすい。また自然遷移の進行も生育地が減少する要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
	○	○	○			○					○	○					○	

オオヒキヨモギ

Siphonostegia laeta S.Moore
ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育域は開発の影響を受けやすく、生育条件が悪化傾向にあり、生育地、個体数とも減少している。

分 布

本州（関東～中国地方）、四国（瀬戸内海側）に分布する。県内では主に嶺南に分布する。

種の特徴

低地のやや乾いた草地に生える一年生草本。茎は斜上し、全体に開出した腺毛がはえる。葉は下部で対生、上部で互生し葉柄に翼がある。下部の葉は羽状に深裂するが、上部ではほぼ全縁となる。花冠の上唇に先端に紅斑がある。

生育を脅かす要因

人間の生活域に近い所に分布するため生育地は土地造成の開発の対象となりやすい。また自然遷移の進行による環境の変化が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○	○					○					